其地下莖ヲ擦リ潰シ其液汁ヲ用ウルノデアルガ其味ガ頗ル苦イカラ先ヅ地下莖ヲいんげん豆大ニ切リ其レヲ更ニ刻ミテ細末トナシ其液汁ト共ニ之ヲ「オブラート」ニ包ミ一日ニ三回服用スルノデアルソシテ實驗ノ結果ハ彼ノ水飴ト大根トノ混合汁ヨリ以上ノ成績ガアルト認メタ

〔牧野富太郎曰フ〕咳ヲ止メル藥トシテ頗ル能ク利クモノヲ今一ツ紹介シヨウ、其レハせんなりほほづきノ果實デアル此果實ハ豌豆粒位ノ大サガアルガ其生ノモノデモ乾シタモノデモヨイガ之ヲ一掴ミ位ヲ水ニテ煎ジ其煎汁ヲ盃ニ一杯位用ウレバ咳ハ直グニ治ル是レハ又百日咳ヘデサヘモ利クトノコトデアル此せんなりほほづきヲ庭先キナドニ栽ヱテ置ケバ機ニ臨ンデ直グニ用キラレ甚ダ重寶デアル是レハなす科ノ一年生草本デ時ニ圃ナドニ自然ニ生ジテ居ルコトガアル淡黃色ノ小サキ花ヲ開キ葉下ニほほづき樣ノ實ガ下ガリ熟シテモ綠色デアルコンナ實ガ澤山出來ルカラ千なりほほづきト稱スル東京デハ七月盂蘭盆會ノ時聖靈祭ノ靈棚ニ供センガ爲メ盆市デ之レヲ賣ッテ居ル多分是レハ丹波ほほづきノ代用品ノ心算デアラウト思フ

○蘚類雜記（一）

富山縣　樫廼舍　笹岡久彥

○所謂Pterobryopsis japonica BROTH. ニ就テ

予曾テ伊勢ノ國ニ滯在中、四日市市ノ川崎光次郎氏ヲ訪ヒ親シク其話ヲ聽キ且ツ其際同氏ヨリ同國鎌ケ嶽産ナル一珍蘚 Pterobryopsis japonica BROTH. ノ少許ヲ惠マル即チ川崎氏ガ著述「菰野山植物」第六十八頁ニ掲グル「プテロブリオプシス、ヤポニカニシテ其註ニ曰ク『昨年著者鎌ケ嶽頂上樹上ニ蒼生せるものを露國蘚類の大家ブロテルス新種なりとし上述の新稱を命ぜられたり余は和名をコモノゴケと命じたり』ト

其後岡村周諦博士ハ川崎氏ト同郷ナル村田吉太郎氏ガ鎌ケ嶽ノ隣嶺ナル御在所ケ嶽ニテ採集セラレタル一珍蘚 Meteoriella soluta (MITT.) SH. OKAM. ヲ松村博士監修植物圖編第三編第一集及ビ理科大學紀要第三十六冊第七編ニ記載發表セラレ幸ニ予モ亦該高著一本ノ惠與ヲ受ケタルヲ以テ熟讀スルニ前記こものごけト全然一致スル

ヲ認メタリ仍テ予ハ此疑問ヲ氷解センコトヲ欲シ岡村博士ニ其旨ヲ告ゲ敎示ヲ請ヘリ同博士ハ予ガ希望ヲ容レ直チニ返信ヲ送ラル曰ク『前略……Pterobryopsis japonica は Cardot ノ命名にして貴書の如く Brotherus の命名には無之候本植物は大隅の屋久島產のものに命ぜしものなるが記載簡單にして小生には充分分らず候……後略』ト、而シテ予ハ更ニ事實ヲ確ムル爲メ村田氏ニ對シ岡村博士ニ提供セラレタル同一包内ノ標品ノ惠投ヲ乞ヘリ幸ニ村田氏ヨリ七月下旬(大正六年)ニ多量ノ惠與ヲ受ケ以テ比較調査ニ從事セリ然モ依然トシテ其差異ヲ認メ難キニヨリ前記二個ノ學名中何レカヲ其しのにむトスルヲ適當ト信ジタリキサレド尙一應原命名者タル Dr. Brotherus 氏ノ意見ヲ聽カバヤト八月上旬該標品ヲ送リ其同定方ヲ依賴セリ而シテ昨年一月下旬他ノ種類ト共ニ前記岡村博士所命ノ學名ヲ以テ正名トスルノ通知書ヲ受領セリ此ニ於テ予ハ本種ノ學名ヲ左ノ如ク取扱ハントス

Meteoriella soluta (Mitt.) Sh. Okam.

Syn. *Pterobryopsis japonica* Broth. (non Card.) in litt.

Nom. Jap. *Komonogoke* (M. Kawasaki), *Ô-mimigoke* (Sh. Okamura), *Komonomimigoke* (K. Murata).

Hab. Prov. Ise: Mt. Kamagatake (M. Kawasaki! 1907?), Mt. Gozaishogatake (K. Murata! Oct. 17, 1914); Prov. Sagami: Mt. Futago (Y. Ishiba! Jul. 25, 1915).

相模國箱根二子山產ノモノハ先年飯柴永吉氏ヨリ Meteoriella Kutoi Sh. Okam. トシテ寄贈セラレタルモノナレドモ予ハ本標品モ正シク前記種ト同一ノモノニ外ナラザルヲ信ズ即チ予ガ所藏ノ標品（工藤氏ガ採集ニ係ル「タイプ」ニシテ畏友岩崎氏ノ寄贈セラレタルモノ）ノ M. Kutoi トハ全然異種ナレバナリ然シ飯柴氏ニ依リテ爾來ノ一新產地殊ニ本種產地東漸ノ事實ヲ知ルヲ得タルハ甚ダ愉快トスル所ナリ

予ハ此ニ前揭ノ先輩及ビ畏友各位ニ對シ深厚ナル感謝ノ意ヲ表ス